



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月15日

茨城県知事 殿

提出者

住 所 : 茨城県神栖市東深芝18番地

氏 名 : DIC株式会社鹿島工場

工場長 神門 伸昭

電話番号 : 0299-93-8116

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2024年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

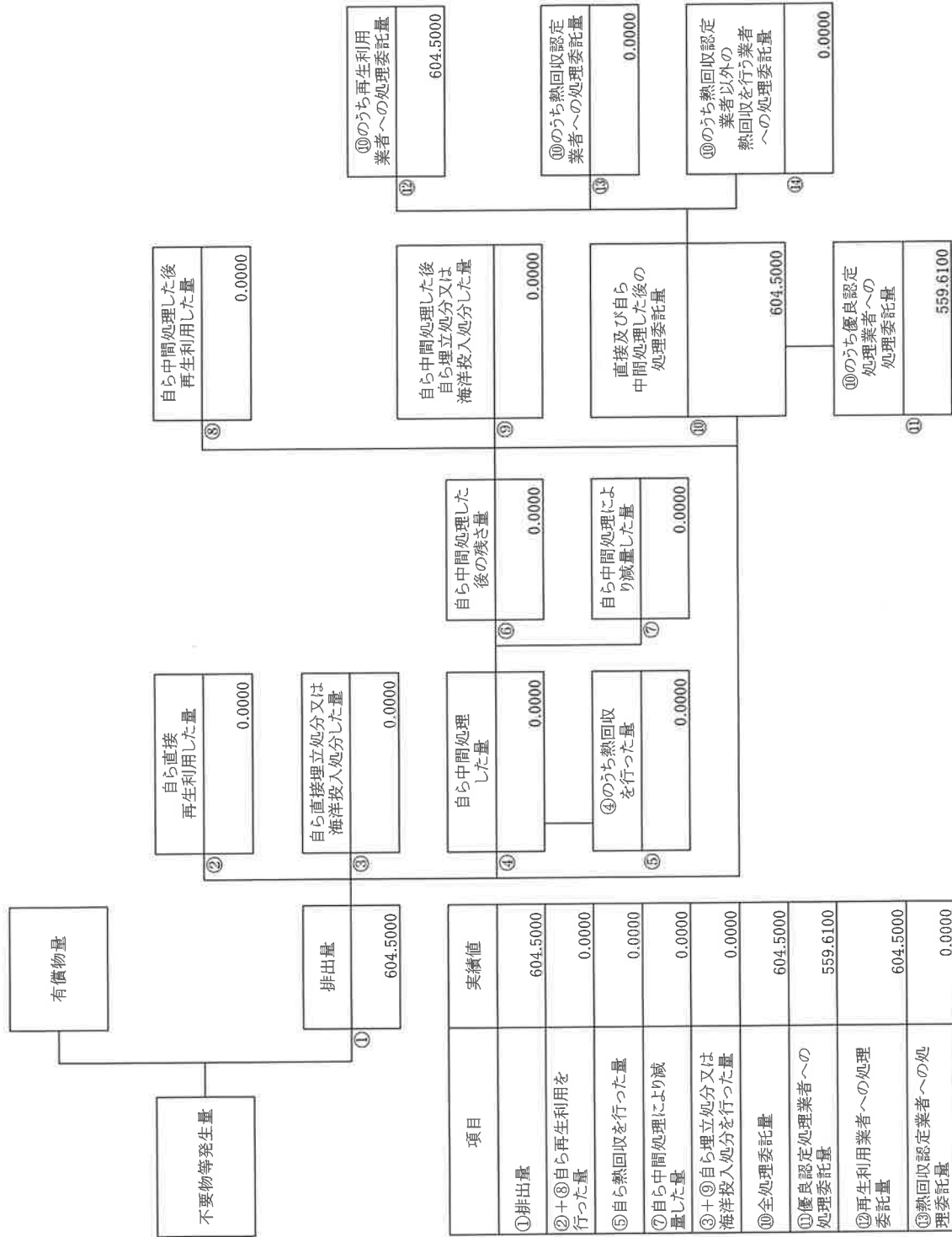
事業場の名称	鹿島工場
事業場の所在地	茨城県神栖市東深芝18
事業の種類	化学工業:有機化学工業製品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,655 t	全処理委託量	1,655 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	1,061 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	1,141 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	369 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	158 t

※事務処理欄

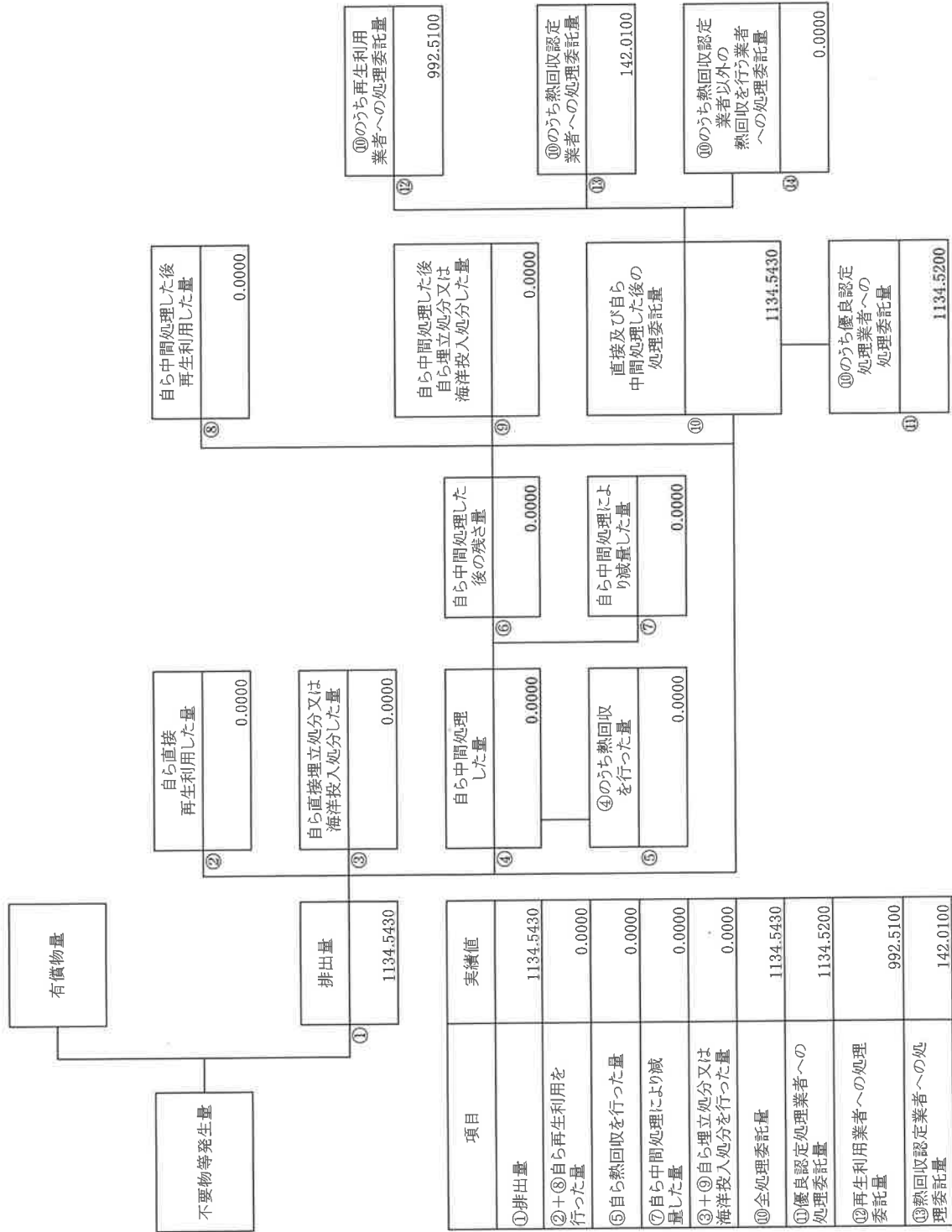
(産業廃棄物の種類:燃え殻)



項目	実績値
①排出量	604.5000
②＋③④自ら再生利用を行った量	0.0000
⑤自ら熱回収を行った量	0.0000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0000
③＋④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0000
⑩全処理委託量	604.5000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	559.6100
⑫再生利用業者への処理委託量	604.5000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0000

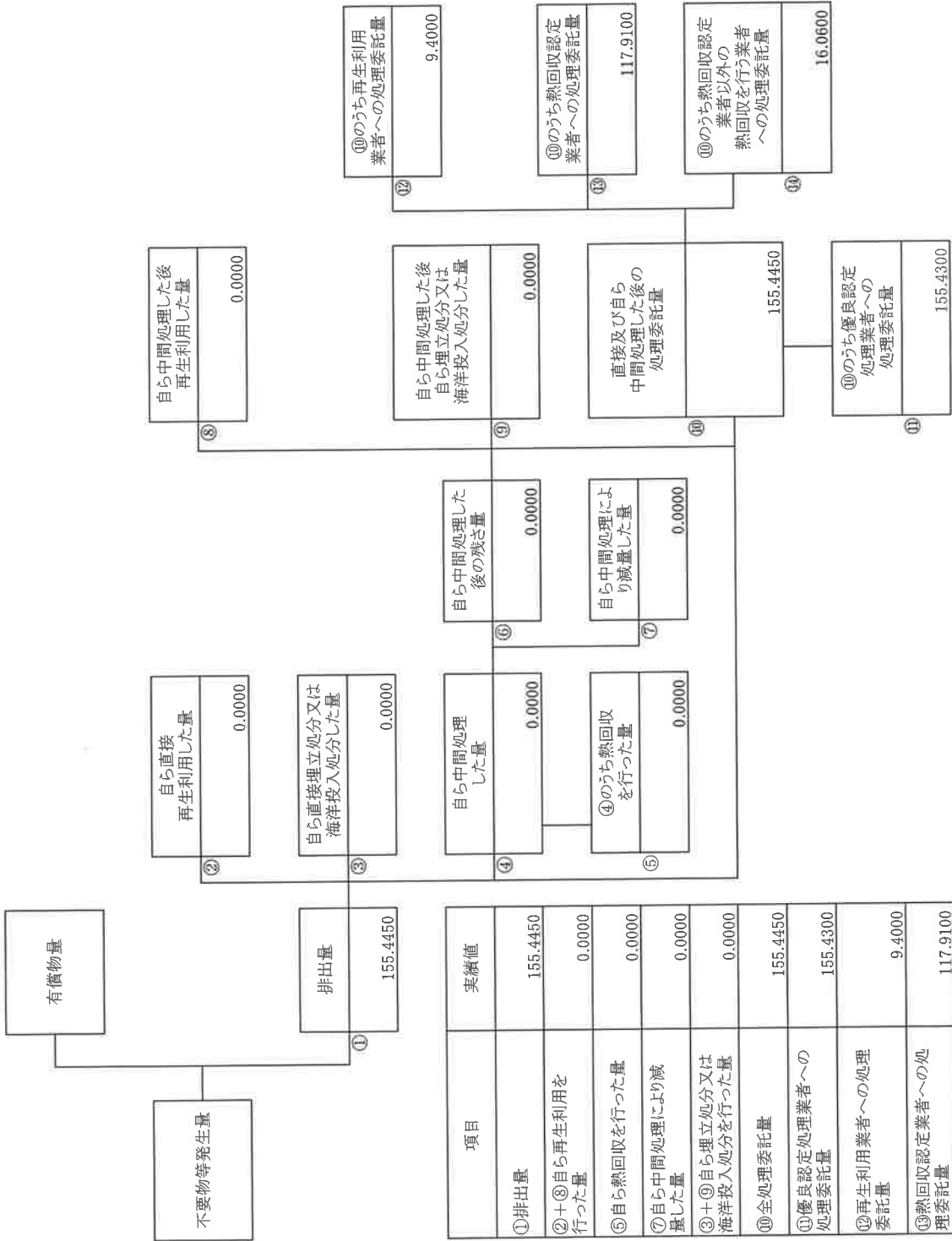
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:汚泥)



(産業廃棄物の種類: 廃油)

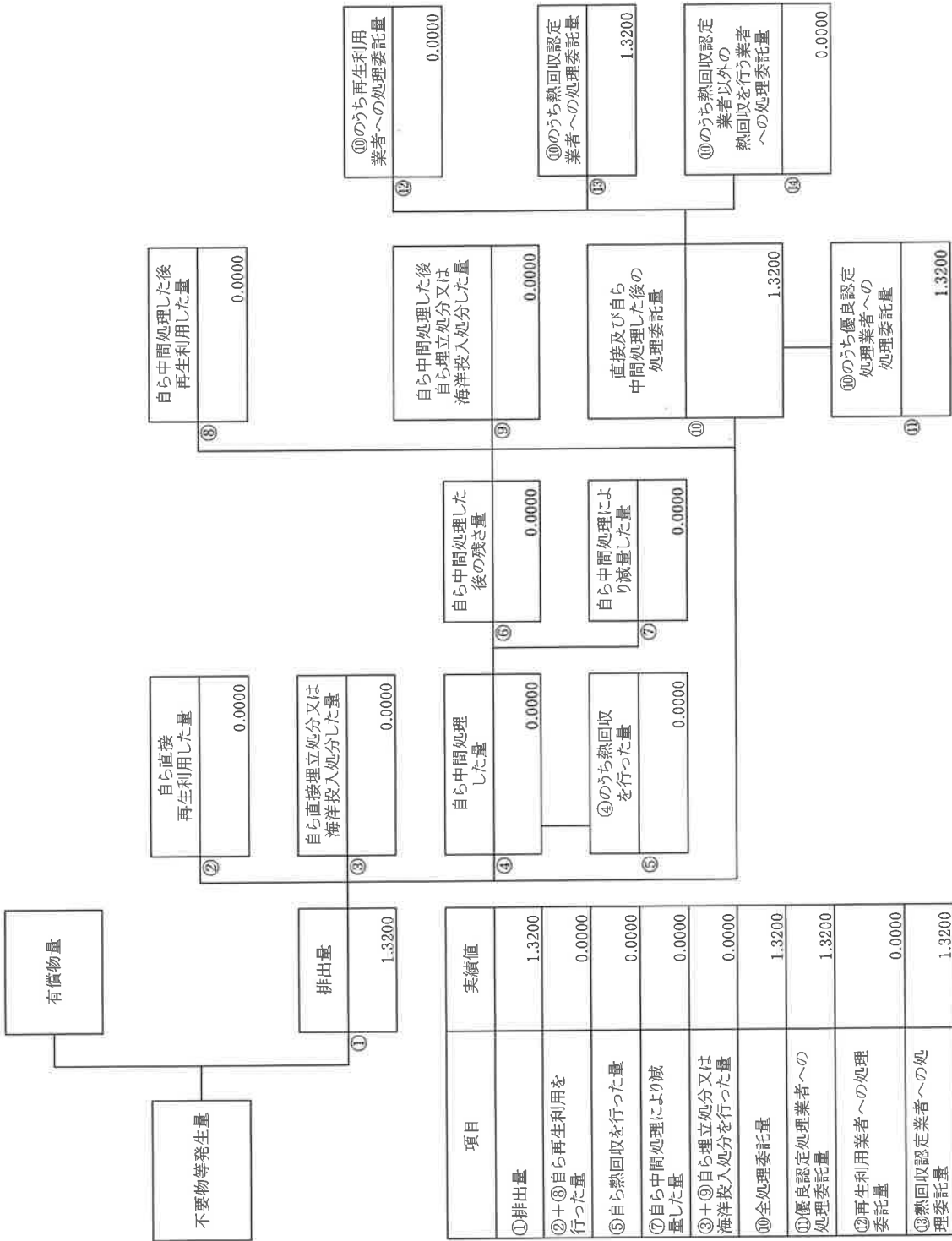
計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	155.4450
②+③自ら再生利用を行った量	0.0000
⑤自ら熱回収を行った量	0.0000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0000
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0000
⑩全処理委託量	155.4450
⑪優良認定処理業者への処理委託量	155.4300
⑫再生利用業者への処理委託量	9.4000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	117.9100
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	16.0600

(産業廃棄物の種類:廃アルカリ)

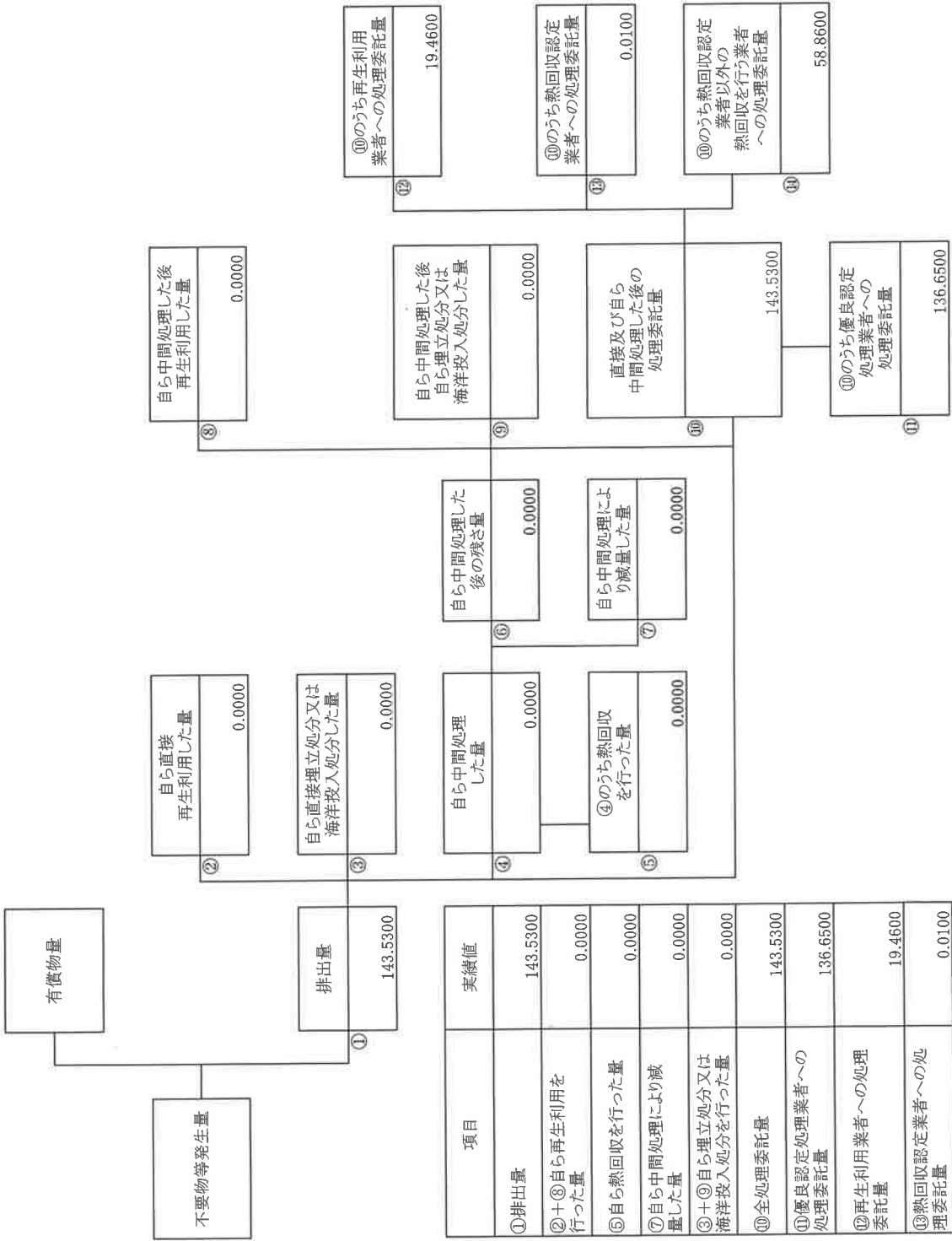
計画の実施状況



項目	実績値
①排出量	1.3200
②+③自ラ再生利用を行った量	0.0000
⑤自ラ熱回収を行った量	0.0000
⑦自ラ中間処理により減量した量	0.0000
②+⑤+⑦自ラ埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0000
⑩全処理委託量	1.3200
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.3200
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	1.3200
⑭熱回収認定業者以外の業者への熱回収を行う業者への処理委託量	0.0000

計画の実施状況

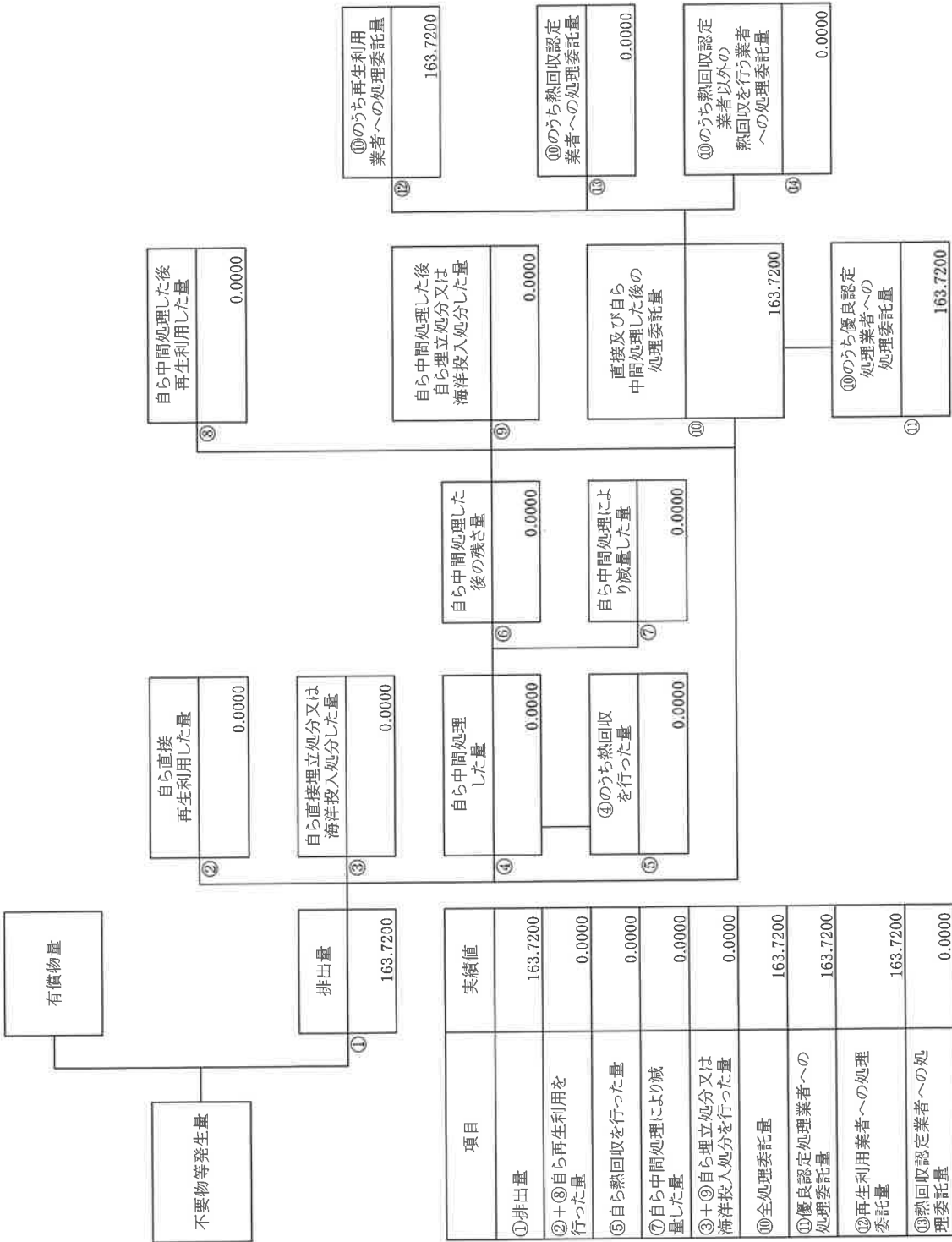
(産業廃棄物の種類：廃プラ類)



項目	実績値
①排出量	143.5300
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.0000
⑤自ら熱回収を行った量	0.0000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0000
③＋④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0000
⑩全処理委託量	143.5300
⑪優良認定処理業者への処理委託量	136.6500
⑫再生利用業者への処理委託量	19.4600
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0100
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	58.8600

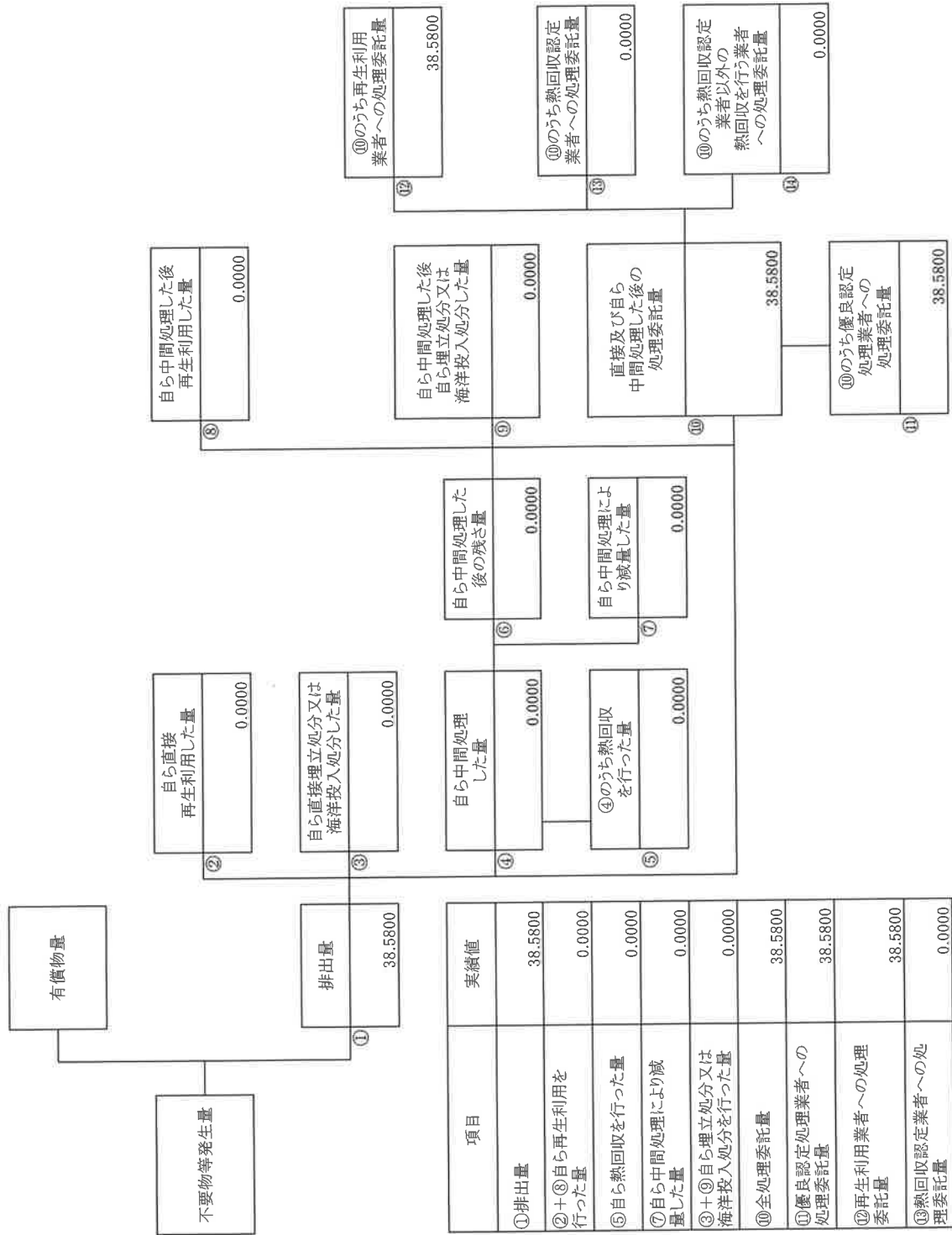
(産業廃棄物の種類:木くず)

計画の実施状況



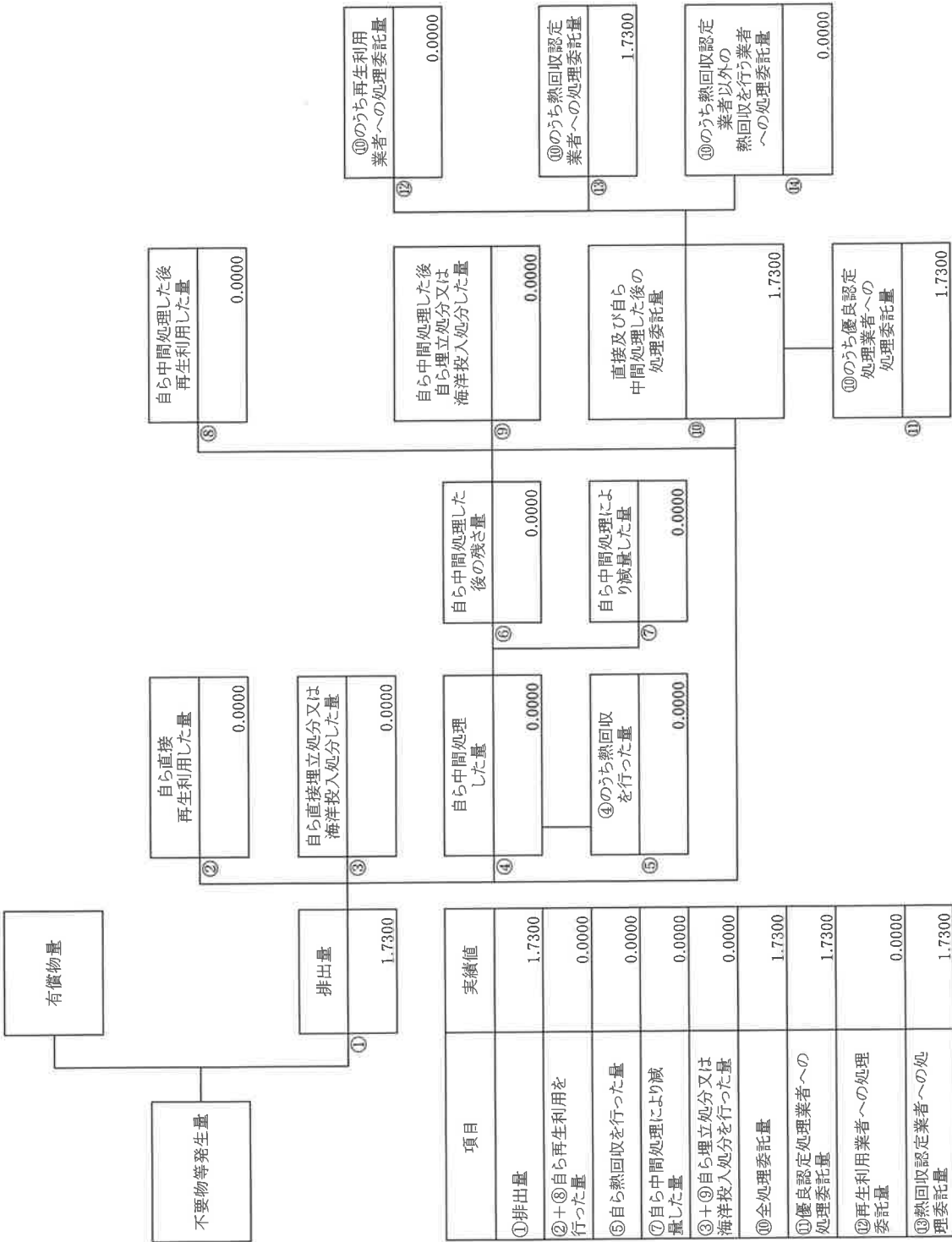
(産業廃棄物の種類:金属くず)

計画の実施状況



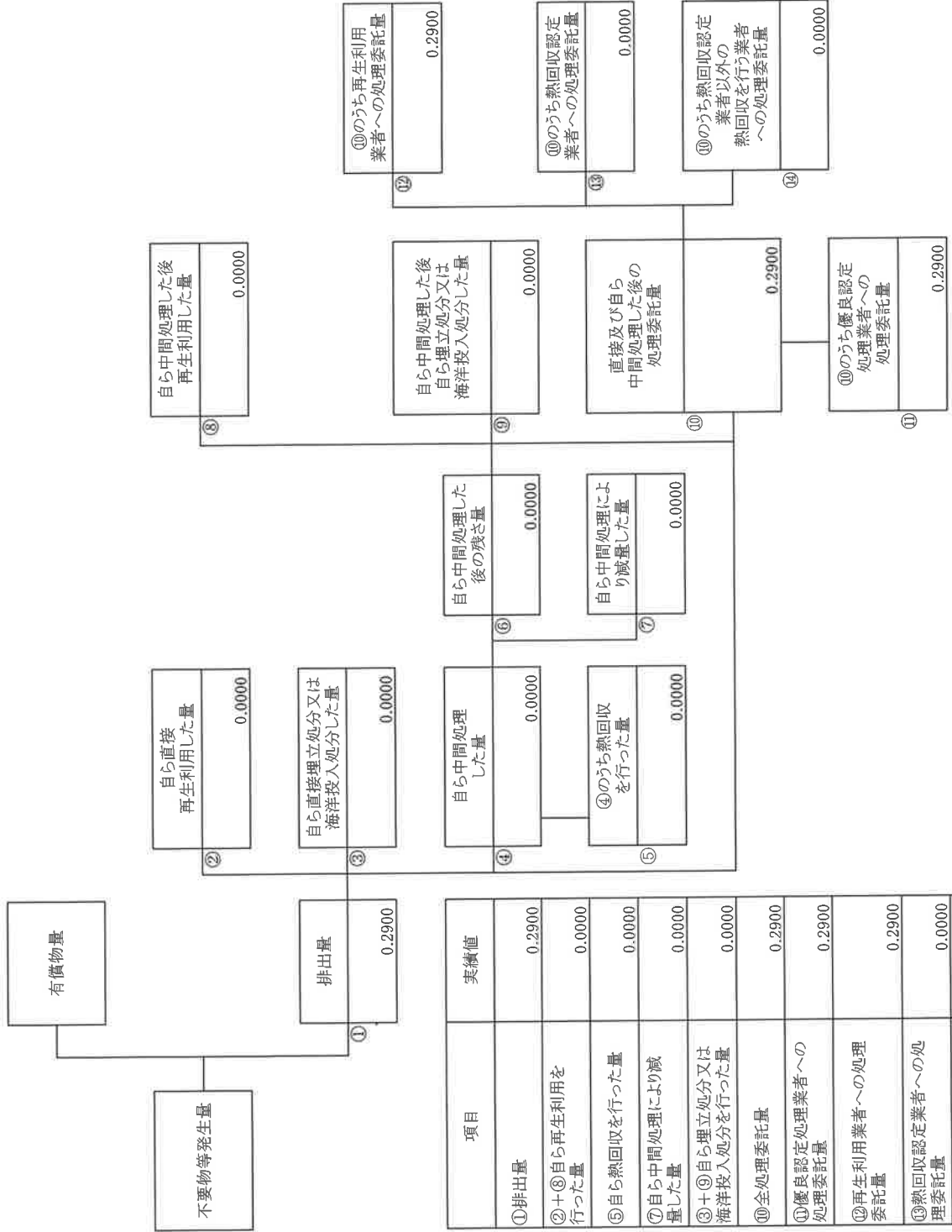
(産業廃棄物の種類:ガラスくず等)

計画の実施状況



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：(水銀製品)蛍光灯)



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。